

# 編修趣意書

## 教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
31-20	中学校	道徳科	道徳	第1学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38光村	道徳 703	中学道徳 1 きみがいちばんひかるとき		

## 1. 編修の基本方針

### 生徒一人一人が自信をもって生きていくために

人格の完成を旨とする教育基本法に基づき、これからの学校には、一人一人の生徒が、

- 自分のよさや可能性を認める
- あらゆる他者を価値のある存在として尊重する
- 多様な人々と協働しながら、さまざまな社会的変化に対応する
- 豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる

ことができるように育んでいくことが、求められています。私たちは、これらの実現を旨として、3つの方針に則って教科書を編修しました。

### 1 成長に寄り添い、効果的な学びを!



- ・年間を3つのシーズン（まとまり）に区切り、学校生活の流れと、生徒の1年間の成長を考慮した構成にしました。
- ・シーズンを、テーマをもったユニットに分け、一つ一つの学びが効果的につながるよう、教材の配列を工夫しました。

### 2 主体的・対話的で深い学びを!



- ・生徒の主体的・対話的な学びが促せるよう、1時間1時間、何について考えるのかを明示しました。
- ・1時間の学びを、他教科や日常生活、これまでの道徳の時間に学んできたこととつなげられるように工夫しました。

### 3 「学びに向かう力」を育むために!



- ・35時間の中に、学びの見通しをもつ時間・学びを振り返る時間を位置づけました。
- ・生徒が、自己肯定感を高めるとともに、「自分の学びを意味づける力」を身につけられるよう、教材化しました。

# 1

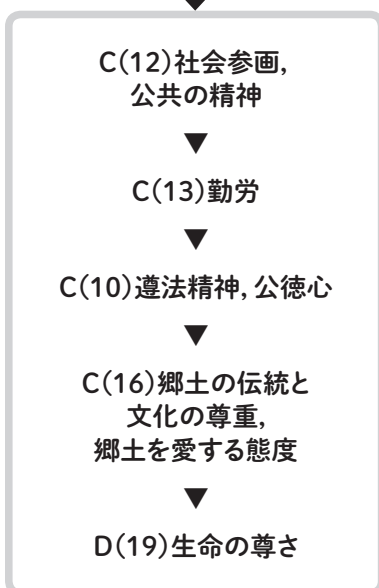
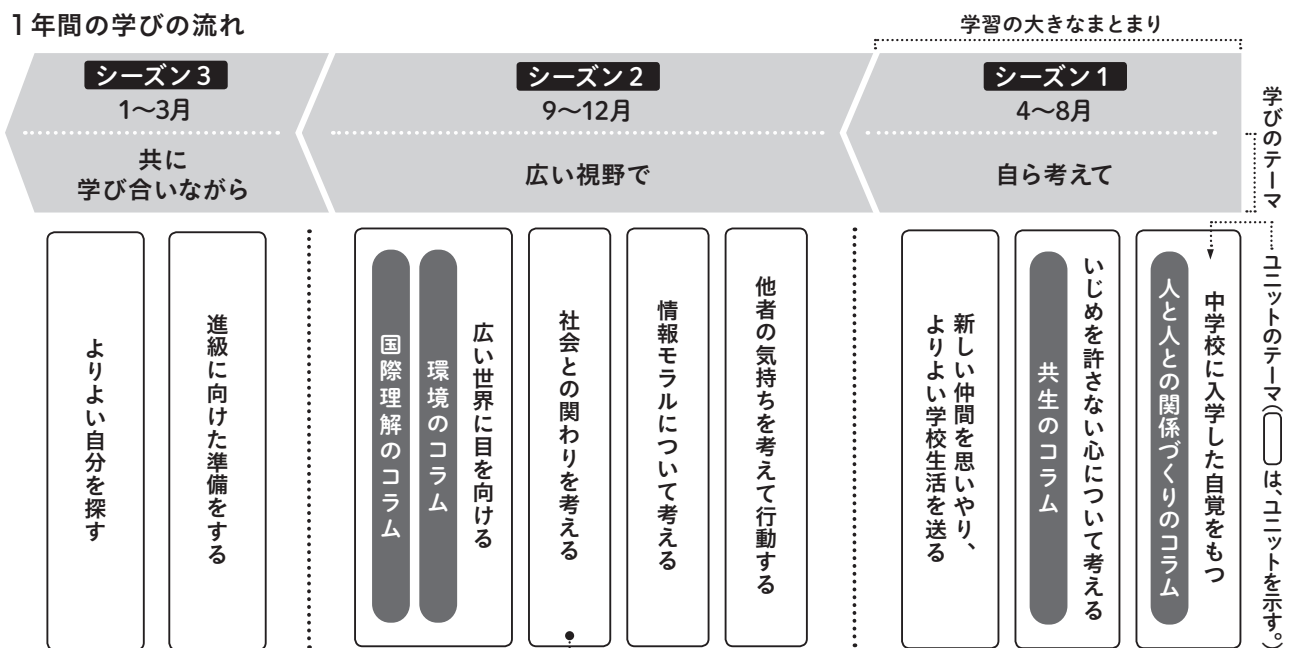
## 成長に寄り添い、効果的な学びを!



### 成長に寄り添った年間構成の工夫

- 学校生活の実態と、それに伴う生徒の成長を考慮した年間構成となるよう、1年間を3つのシーズン(まとまり)に分けました。
- シーズンの冒頭には、「学びのテーマ」と、作家あさのあつこさんによる語りかけの言葉を掲げたとびらを設け、学びの入り口としました。
- 各シーズンは、「学びのテーマ」に応じて、複数の教材を組み合わせた「ユニット」で構成しています。ユニットにも、「学びのテーマ」に応じたユニットごとのテーマを掲げています。

### 1年間の学びの流れ



### 「ユニット」化で効果的な学びを実現

ユニット内の教材は、1時間の学びが、単独ではなく、教材から教材へと有機的に結び付くよう配慮しています。

例えば、シーズン2「広い視野で」のユニット「社会との関わりを考える」では、社会参画について学んだうえで、勤労の価値を理解し、さらに法やきまりを守る心、そして郷土を愛する心や命の大切さについて考えを深めていくという、学びの流れになっています(左図)。ユニットを通して効果的に学ぶことが期待できます。また、これらのユニットは、教科書184ページに示した、「この教科書が目ざした1年生の姿」に向かう構成となるよう意識しています。

もちろんこれらの配列は絶対的なものではなく、各学校の教育目標に照らして、並び替えたり教科書以外の教材と併用したりすることも可能です。

## 2 主体的・対話的で深い学びを!



### 主体的・対話的な学びの姿，多面的・多角的な見方を引き出す「てびき」

p.77 ⑮「言葉の向こうに」

#### 考えよう

立場の違う人と関わるときに大切なことは、何だろう。



- 必死で反論する「私」の言葉が、だんだんエスカレートしたのは、どうしてだろう。
- 「思いつ切り外の空気を吸った」とき、「私」は、どんなことを思っていたらう。

#### 見方を変えて

- 「あなたが書いた言葉の向こうにいる人々の顔を思い浮かべてみて。」と書き込んだ人は、どのような考えで書き込んだのだろう。

#### つなげよう

- 今日の授業で学んだことは、あなた自身の生活に、どのように生かしていけるだろう。

#### 考えよう

生徒が、教材を通して何を学ぶのか(めあて)をはっきりと意識することができるようになりました。

次に、めあてに迫るため、次のような2つの問い「●」を設定しました。

- ① 道徳的な問題を明らかにする問い(課題の設定)
- ② 道徳的な価値についての理解や自覚を深める問い(中心となる発問)

また、最後にもう一度、「考えよう」に掲げためあてに戻ることで、本時のまとめができるようになっています。

#### 見方を変えて

生徒が、多面的・多角的な見方や考え方ができるよう、「考えよう」とは切り口を変えた問いを設定しました。

#### つなげよう

他教科や日常生活との関連、他教材との関連、関連する図書の紹介等を、教材の特質に合わせて示しています。道徳の学びが1時間の授業で終わってしまうのではなく、そこからさらに深く考えたり、行動につなげたりできるよう工夫しました。

### 学びを確実なものに——「深めたいむ」

年間に4か所、複数時間で取り組む教材「深めたいむ」を用意しました。読み物教材で学んだ道徳的価値を、活動を通して確かめ、さらに深く実感を伴って考えることができるよう工夫しました。特に、いじめ問題と情報モラルに関わる内容については、全学年で取り上げ、生徒たちの身近で起こりそうな場面を通して、自分のこととして捉え直すことができるようにしました。

p.34-35 ⑥「深めたいむ」(いじめを許さない心について考える)



# 3

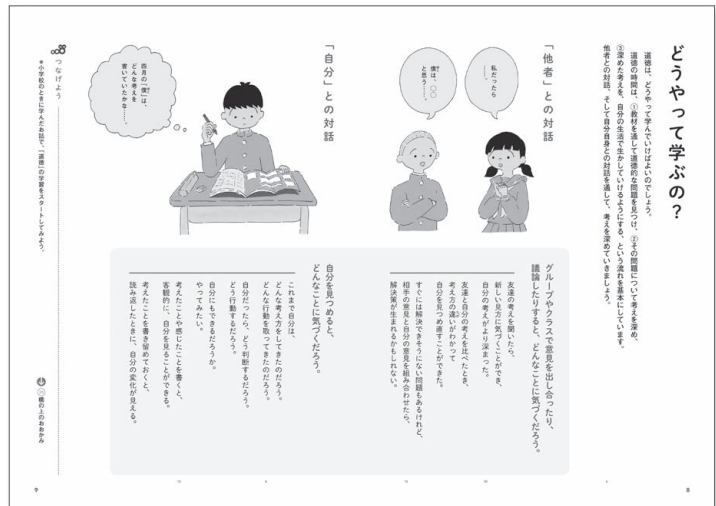
## 「学びに向かう力」を育むために!



### 学びの見通しをもつこと・学びを振り返ることの大切さ

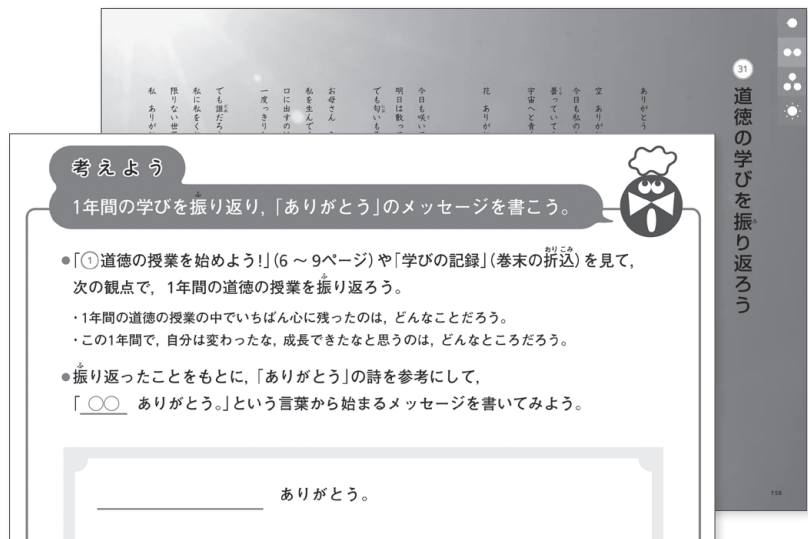
- 第1教材には「道徳の授業を始めよう!」、最終教材には「道徳の学びを振り返ろう」を位置づけました。
- 「道徳の授業を始めよう!」では、道徳を学ぶ価値について考えます。1年は、道徳科では「何を学ぶのか」、「どのように学ぶのか」を確認します。(2年では、「なぜ学ぶのか」、3年ではさらに「なぜいっしょに学ぶのか」が加わります。)1年間の学びの見通しをもち、学びに向かう姿勢を整えることができるよう、工夫しました。

p.8-9



- 「道徳の学びを振り返ろう」では、1年間に学んできたことを振り返り、自分の学びにはどのような意味があったのか、どのような価値があったのかを自己評価できるよう、工夫しました。学びが、自分の中でどのように生きているかを評価したり意味づけたりする力を養うことは、「学びに向かう力」を育むことにつながります。

p.158-159



p.160

### 全ての生徒にとって使いやすく、わかりやすく

#### 特別支援教育への配慮

教科書全体において、色覚特性や特別支援教育の専門家による校閲を受け、全ての人が使いやすいユニバーサルデザインの観点に立った編修とデザインを心がけました。

#### 人権上の配慮

教科書全般にわたって、教材や挿絵に登場する人物や執筆者に性別による偏りがないようにするとともに、人種・身体的特徴などについても多様性に意を用い、人権に配慮した記述としました。また、人権教育の専門家に、全面的な校閲をお願いしました。

#### 保護者への配慮

第1教材や巻末の「先生方・保護者の方々へ」などで、この教科書が目ざすところを保護者にも発信し、学校、家庭、地域の連携を図りました。

## 2. 対照表

### [ 第1学年 ]

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	第2条との対照	該当頁
巻頭詩	豊かな情操と道徳心を培うとともに、個人の価値を尊重して創造性を養うために、詩の形式をとった生徒へのメッセージを掲載した。	第一号、第二号	表2-1
1 道徳の授業を始めよう!	幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操と道徳心を培うために、道徳を学ぶ意義を考えるとともに、疑問を追究していく態度や他者を尊重しながら意見交流すること、自分自身を見つめることの大切さを感じることができるようなページを設けた。	第一号、第二号	6-9
3 三百六十五×十四回分の「ありがとう」	幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな心身を養うことの大切さに気づくことができるよう、生徒の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第一号	13-16
4 「養生訓」より			17-21
26 銀色のシャープペンシル			132-136
〈付録〉35 橋の上のおおかみ			174-176
〈広げよう〉人と人との関係づくり 自分の気持ちを相手に伝えるには			28-29
5 夢を諦めない―「ねぶた師」北村麻子	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、成長する喜びが感じられるよう、生徒の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号	22-27
8 六十二枚の天気図			42-45
28 カメは自分を知っていた			141-147
2 自分で決めるって?	他者との関わりの中で、自己を見つめ、自主及び自律の精神を養うことができるよう、生徒の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号	10-12
12 裏庭での出来事			60-64
15 言葉の向こうに			73-79
24 撮れなかった一枚の写真			123-126
25 親友			128-131
〈付録〉32 いちばん高い値段の絵			162-166
7 私の話聞いてね	職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与することの大切さに気づくことができるよう、生徒の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号、第三号	36-39
14 学習机			69-72
16 紙芝居			82-85
17 私が働く理由			86-90
18 仏の銀蔵	91-97		
6 魚の涙	他者との関わりの中で、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるよう、生徒の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第三号	30-35
9 席を譲ったけれど			46-49
10 みんなで成功させよう			50-54
13 父の言葉			65-68
27 やっぱ樹里は			137-140
〈付録〉33 雨の日の昇降口			167-169
〈付録〉34 初めての伴奏			170-173
〈広げよう〉共生 ユニバーサルデザイン ―誰もが使いやすいものを	40-41		
11 ひまわり	自他の生命を尊び、それらの生命を取り巻く自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう、生徒の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第四号	55-58
20 捨てられた悲しみ			102-105
21 「ソーセージ」の悲しい最後			106-109
29 命の木			148-152
30 エルマおばあさんからの「最後の贈りもの」			153-157
〈広げよう〉環境 「生物多様性」を知ろう	110-111		
19 なおしもん	伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国の伝統や文化を理解し、国際社会の平和を願う態度を養うことができるよう、生徒の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第五号	98-101
22 日本のお米			112-116
23 異文化の人々と共に生きる			117-120
〈広げよう〉国際理解 考えの違いを乗り越える			121-122
31 道徳の学びを振り返ろう	豊かな情操と道徳心を培うとともに、自主及び自律の精神を養うことができるよう、学習した道徳的価値やそれに関連した自分自身のことを振り返ることのできるページを設けた。	第一号、第二号	158-160
なんだろう なんだろう	幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培うことができるようなページを設けた。	第一号	80-81
〈付録・広げよう〉人と人との関係づくり 友達とよい関係を築くには	教材と関連して、幅広い知識や豊かな人間関係を築こうとすることができる内容を付録として設けた。	第一号	177
〈付録〉日本の郷土玩具	教材と関連して、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度が養える内容を付録として設けた。	第五号	178-179
〈付録〉あなたへのメッセージ	豊かな情操と道徳心を培うとともに、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばそうとする態度を養うことができる内容を付録として設けた。	第一号、第二号	182-183
学びの記録	個人の価値を尊重し、その能力を伸ばしていくために、学習した道徳的価値や、それに関連した自分自身のことを振り返り、自己評価ができるよう、学習を振り返る書き込み欄があるページを設けた。	第二号	折込





## 2 教材の構成が授業を支える！

教材には、1時間の学びの道すじを示したてびきを用意し、ユニバーサルデザインや特別支援教育など多様性の観点から、見やすく読みやすい紙面にしました。

環境に配慮した紙に、植物性インキを用いて印刷

コンパクトなB5判を採用

本文は読みやすいUDフォントを使用

内容項目のタグの明示により、本時の大枠のねらいを把握

形と色で判別できる視点マーク

学びの道すじを示したてびき (教育基本法との対照表) p.3参照

p.128-131 ㊤「親友」

25 親友

著作者名を明示

編集委員会 石川のぞみ 絵

朗読や動画など、興味・関心を引くデジタルコンテンツを用意

理解を促す挿絵や臨場感あふれる写真を多用

**体験的な学習(役割演技)を通して、実感をもって道徳的価値について考えを深めていくてびきも用意**

㊤ 読みよう

相手のことを考えて行動するとき大切なのは、どんなことだろう。

※6年生のとき、「僕」が「美咲は僕の親友だ。」と思えたのは、どうしてだろう。

※「美咲を見つめ、その場に突っ立っていた」とき、「僕」は、どんなことを思っていたのだろう。

㊦ 見方を広げて

※「行って話してあげなさい」という父の言葉を聞いて、「私」は、どんなことを思ったのだろう。

㊧ 見方を広げて

※「父の言葉を聞いた「私」が、悪い結果つえの子に話しかけたら、どんな話をするだろう。

※「私」と悪い結果つえの子を比べて、考えよう。

※「美咲と話をしていた人は、「私」と悪い結果つえの子のやり取りから、どんなことを感じたいかを想像しよう。



㊨ 読みよう

夢をかなえるために大切なのは、何だろう。

※麻子は、どうして「ねぶた師」になろうと思ったのだろう。

※「夢を諦めなくて、よかった」という麻子の言葉には、どんな思いが込められているだろう。

㊩ 見方を広げて

※麻子の父は、どんな思いで、麻子の夢を聞き入りを許さなかったのだろう。

㊪ つなげよう

※自分のやりたいことが見つかったとき、今日の学びを思い出そう。

p.65-68 ㊬「父の言葉」



「ねぶた師」北村麻子

最優秀 制作者賞 ねぶた大賞 十六年 2017

市市民ねぶた

p.22-27 ㊭「夢を諦めない―「ねぶた師」北村麻子」

### 3 「生きて働く」 道徳性を養う!

毎時間、生徒が興味・関心をもって授業に取り組めるよう、さまざまなジャンルの素材を、多面的・多角的に考えることができる教材にしました。



p.36-39 ⑦「私の話を聞いてね」



p.106-109 ⑫『『ソーセージ』の悲しい最後』

インターネットへの投稿を素材に、相互理解について考える教材



「ソーセージ」という名のヒグマのエピソードから、人と自然との関係を考える教材

生徒の日常生活にありがちな場面や判断を求められる場面を取り上げた教材で、問題解決的な学習を実現

p.50-54 ⑩「みんなで成功させよう」

教材と結び付けたり、住んでいる地域と関連させたりして考えることができる、主体的な学びを促すコーナーを、適所に用意しました。



p.80-81「なんたらう なんたらう」

生徒が、また、先生方も「なんたらう」と思わず考えたくなるような、素朴ながら答えのないテーマについて、絵本作家ヨシタケシンスケさんの描きおろし作品を掲載しました。

日本の郷土玩具を知ることを通して、自分の住んでいる地域に引きつけて伝統文化について考えられる付録を用意しました。



p.178-179「日本の郷土玩具」





## 2. 対照表

[ 第1学年 ]

図書の構成・内容		学習指導要領の内容				該当頁	配当時数	配当学期	
		視点※1							内容項目
		A	B	C	D				
巻頭詩						表2-1			
自ら考えて	1 道徳の授業を始めよう!	○	○	○	○	内容項目を限定しない	6-9	1	
	2 自分で決めるって?	○				自主, 自律, 自由と責任	10-12	1	
	3 三百六十五×十四回分の「ありがとう」			○		家族愛, 家庭生活の充実	13-16	1	
	4 「養生訓」より	○				節度, 節制	17-21	1	
	5 夢を諦めない―「ねぶた師」北村麻子	○				希望と勇気, 克己と強い意志	22-27	1	
	6 魚の涙 ※2					公正, 公平, 社会正義	30-33	2 <sup>(1)</sup>	
	深めたいむ			○			34-35	2 <sup>(1)</sup>	
	7 私の話を聞いてね		○			相互理解, 寛容	36-39	1	
	8 六十二枚の天気図	○				真理の探究, 創造	42-45	1	
	9 席を譲ったけれど		○			思いやり, 感謝	46-49	1	
	10 みんなで成功させよう			○		よりよい学校生活, 集団生活の充実	50-54	1	
11 ひまわり				○	生命の尊さ	55-58	1		
広い視野で	12 裏庭での出来事	○				自主, 自律, 自由と責任	60-64	1	
	13 父の言葉		○			思いやり, 感謝	65-68	1	
	14 学習机		○			礼儀	69-72	1	
	15 言葉の向こうに		○			相互理解, 寛容	73-77	2 <sup>(1)</sup>	
	深めたいむ						78-79	2 <sup>(1)</sup>	
	なんだろう なんだろう			○		公正, 公平, 社会正義	80-81	1	
	16 紙芝居			○		社会参画, 公共の精神	82-85	1	
	17 私が働く理由			○		勤労	86-90	1	
	18 仏の銀蔵			○		遵法精神, 公德心	91-95	2 <sup>(1)</sup>	
	深めたいむ						96-97	2 <sup>(1)</sup>	
	19 なおしもん			○		郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度	98-101	1	
	20 捨てられた悲しみ				○	生命の尊さ	102-105	1	
	21 「ソーセージ」の悲しい最後				○	自然愛護	106-109	1	
	22 日本のお米			○		我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度	112-116	1	
23 異文化の人々と共に生きる			○		国際理解, 国際貢献	117-120	1		
24 撮れなかった一枚の写真				○	よりよく生きる喜び	123-126	1		
共に学び合いながら	25 親友		○			友情, 信頼	128-131	1	
	26 銀色のシャープペンシル				○	よりよく生きる喜び	132-136	1	
	27 やっぱり樹里は			○		公正, 公平, 社会正義	137-140	1	
	28 カメは自分を知っていた	○				向上心, 個性の伸長	141-144	2 <sup>(1)</sup>	
	深めたいむ						145-147	2 <sup>(1)</sup>	
	29 命の木				○	感動, 畏敬の念	148-152	1	
	30 エルマおばあさんからの「最後の贈りもの」				○	生命の尊さ	153-157	1	
31 道徳の学びを振り返ろう	○	○	○	○	内容項目を限定しない	158-160	1		
付録	32 いちばん高い値段の絵		○			友情, 信頼	162-166		
	33 雨の日の昇降口			○		遵法精神, 公德心	167-169		
	34 初めての伴奏			○		よりよい学校生活, 集団生活の充実	170-173		
	35 橋の上のおおかみ		○			思いやり, 感謝	174-176		
	日本の郷土玩具			○		郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度	178-179		
合計時数								35	

※1 視点の内容 A: 主として自分自身に関する事 B: 主として人との関わりに関する事 C: 主として集団や社会との関わりに関する事 D: 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関する事

※2   は複数時間扱いの教材を表す。